

名古屋地学会第298回例会報告

横井大作

日時：2013年2月16日（土）

場所：名古屋市守山区竜泉寺周辺および中志段味才井戸流

内容：竜泉寺周辺に分布する矢田川累層，唐山層，八事層の観察および市内最大の湧水地「才井戸流」の見学

参加者（敬称略）：浅見伸幸，近藤洋，諏訪斎，田辺秀穂，中野光孝，三宅明夫妻，吉田厚司（8名）

案内者：横井大作（愛知県立熱田高等学校）

この日は晴天に恵まれたが，風のため寒さを強く感じた。幸いたくさんの方に参加をいただき，名古屋市内に残る貴重な露頭や湧水地を見ることができた。

愛知教育大学の三宅明先生からは守山区周辺の3D地形図とメガネを配付していただき，庄内川の両側に広がる段丘地形を理解することができた。また，参加者がそれぞれの視点で観察を行うため，新しい発見があり，例会の大切さをあらためて実感した。以下に観察ポイントを紹介する。

①竜泉寺の南西にある愛知霊園の奥の露頭 矢田川累層の上位を構成する猪高層の砂，シルト，粘土の互層が観察できる。砂層からは水がしみ出し，鉄分を含むために板状に硬くなっているところがある（写真1）。



写真1 猪高層

また，露頭の上部には亜炭層と火山灰層がはさまれている（写真2）。



写真2 火山灰層

②川東山地内の住宅街の露頭（①の露頭の上部）

猪高層とそれを不整合におおう八事層（礫層）との境界が観察できる（写真3）。

この露頭の猪高層（シルト）は，部分的に紫色ないしピンク色に変色している。



写真3 猪高層（シルト）

- ③尾張荘（介護施設）西側の露頭
唐山層の「くさり礫」が観察できる（写真4）。



写真4 唐山層

- ④竜泉寺の湯の東側にある露頭
八事層の礫層が観察できる（写真5）。



写真5 八事層

- ⑤才井戸流にある湧水地（守山高校から東へ100m）

このあたりは湿地になっており、数カ所で地下からの湧水が見られる（写真6）。



写真6 湧水

水に触れたところ、この季節の屋外の水にしては、生ぬるく感じた。

- ⑥吉根にあるチベット仏教寺院南側の露頭
砂層の中にクロスラミナが観察できる（写真7）。また、露頭の横にある階段を上ると礫層が見られる（写真8）。



写真7 クロスラミナの見られる砂層



写真8 礫層

参考文献

- 名古屋市環境局公害対策部公害対策課，
2007. 水の環復活 2050 なごや戦略（資料編）. 名古屋市環境局.
村松憲一，2007. 名古屋の大地とその生い立ち一見してみよう，調べてみよう，郷土の地質遺産一. 98p.
森 忍，1971. 名古屋市東部の瀬戸層群矢田川累層. 地質学雑誌，77，635－644.
吉田新二，田口一男，村松憲一，1984. 志段味地区の地形・地質. 名古屋市志段味地区自然環境調査報告書，1－9.